

一期一会

三木東中学校 学校通信

2026年度 NO.4

6月29日(月)発行

情報モラル講演会

6月16日火曜日、関西ICT協会の方に来ていただいて、情報モラル講演会を開催しました。この講演の後、皆さんは、家の人と情報モラルについてどんな話をしたでしょうか。



日本でスマートフォンの普及が当たり前になってきたのは2015年頃と言われています。11年の月日がたった今、世界では未成年(16才未満等)のSNSを禁止する動きが広まってきました。普及してからたった10年ほどで、予想できなかったような問題が起こってきているのが事実です。10年前、中学生の90%以上がスマートフォンを持っている状態を予想できたでしょうか。闇バイトで、個人情報を渡してしまい、未成年が犯罪をしてしまうような状態を予想できたでしょうか。本当は非常に複雑で難しい電子情報機器であるのに、仕組みやモラルについて十分な知識がないまま、日々スマートフォンを操作していることは、実はとても怖いことなのだ気づいてほしいと思います。「フィルターバブル」(※)、「エコーチェンバー」という言葉の意味も知らないまま、毎日SNSを見ている人は、その怖さにまだ気づいていない人です。

しかし、講演の中でもありましたが、スマートフォンの普及が私たちの生活を便利に、そして豊かにしていることも事実です。進学や就職のときに活用し、その先にある未来で豊かな生活を送るためにICTの技術を正しく使うことは大切です。だからこそ、今回の情報モラル講演会で聞いたことをもとに、誰かに利用されるのではなく、自分自身のために上手に活用する能力を育ててほしいと思います。

※「フィルターバブル」は、令和6年度全国学力・学習状況調査の中学校国語にも取り上げられました。

【保護者の皆様へ】

情報モラル講演会では、生徒はみな集中して話を聞き、「依存症度チェック」で、驚いている生徒も多くいました。スマートフォンとのつきあい方を考える良い機会になったと思います。保護者の皆様にも、これを機に改めてお願いしたいことがあります。

一つ目は、フィルタリングです。フィルタリングの重要性については、警察や青少年センターだけでなく、販売業者からも啓発されていると思います。お子様や家族が犯罪に巻き込まれないためにも、ご検討ください。

二つ目はパスワード等の個人情報です。講演会の中でも、自分の誕生日や電話番号、単純な数字の組み合わせなど、簡単にわかってしまうようなパスワードの危険性について話がありました。子どもたちは意外にも簡単なパスワード設定をしていることがあります。改めてご確認ください。

最後に、上記2つを含めたお子様との話し合いの時間を設けてほしいと思います。7月の後半には夏休みが始まります。安心して充実した夏休みを生徒が過ごすためにも、ぜひお願いしたいと思います。